

令和 8 年度第 1 回東松島市総合教育会議

日 時 令和 8 年 8 月 1 8 日 (火)

午後 3 時から

場 所 東松島市役所 3 0 1 会議室

次 第

1 開会

2 あいさつ 東松島市長 渥 美 巖

3 議題

(1) 報告事項

- ①「業務量管理・健康確保措置実施計画」について
- ②学校プール及びゆふと利用状況について
- ③令和 8 年度中総体・吹奏楽コンクール東松島市内中学校結果について
- ④東松島市教育支援センター（ひがまつ BASE）の現状について
- ⑤大曲小学校新校舎完成後及び仮設校舎等解体工事日程について
- ⑥学校給食無償化に係る非喫食者保護者に対する負担軽減について

(2) 協議事項

- ①学習状況調査の結果と本市の学力向上の取組について
- ②目指す「1 5 歳の姿」を共有した幼保小中連携の取組

4 閉会あいさつ 東松島市教育委員会教育長 相沢 進

5 閉会

出席者名簿

No.	役 職 名	氏 名
1	市 長	渥 美 巖
2	教 育 長	相 沢 進
3	教 育 委 員 (教育長職務代理者)	木 村 和 彦
4	教 育 委 員	福 田 ゆかり
5	教 育 委 員	鹿 野 あい子
6	教 育 委 員	松 岡 勝 久

【教育委員会部局】

No.	役 職 名	氏 名
1	教育部長	柏 木 淳 一
2	学校教育管理監	渥 美 眞佐男
3	参事兼教育総務課長	樋 熊 利 将
4	生涯学習課長	五ノ井 勝 浩
5	文化財課長	森 祐 樹
6	教育総務課指導主事	後 藤 和 紀
7	教育総務課指導主事	渡 邊 真 一
8	教育総務課長補佐	下 澤 剛 生
9	教育部学校給食センター所長	阿 部 智 浩
10	教育総務課教育総務係長	菅 原 小百合

【市長部局】

No.	役 職 名	氏 名
1	副市長	八 木 哲 也
2	総務部長	勝 又 啓 普
3	総務課長	奥 田 和 朗
4	総務課長補佐	坂 本 康 至
5	総務課市長公室長	柴 田 やす子
6	総務課市長公室長補佐兼秘書広報係長	山 田 美佐子

「業務量管理・健康確保措置実施計画」について

1 計画の趣旨

- (1) 「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律」(令和7年6月11日成立)によって教育委員会に対し、教員の業務量の適切な管理と健康・福祉を確保するための措置(業務量管理・健康確保措置)を実施するための計画(業務量管理・健康確保措置実施計画)の策定・公表、計画の実施状況の公表、**総合教育会議**への計画の内容及び実施状況の報告が義務付けられたため。
- (2) 「学校における実施の確保のための措置」として、公立学校が、学校評価の結果に基づき講ずる学校運営の改善を図るための措置が、業務量管理・健康確保措置実施計画に適合するものになること、また、公立学校の校長が**学校運営協議会**の承認を得ることとなっている学校運営に関する「基本的な方針」に、業務量管理・健康確保措置の実施に関する内容を含めることが義務付けられたため。

2 令和8年度の目標

(1) 時間外在校等時間に関する目標

- 1箇月時間外在校等時間が45時間以下の割合を、小学校で85%、中学校で60%にする。

※令和11年度までに100%達成を目指す。

【令和6年度：小学校77.9% 中学校43.9%】

【令和7年度：小学校79.8% 中学校47.9%】

- 1年間における1箇月時間外在校等時間の平均時間を、小学校で30時間以下、中学校で45時間以下にする。

※令和11年度までに市全体で30時間以下を目指す。

【令和6年度：小学校32.2時間 中学校48.7時間】

【令和7年度：小学校31.5時間 中学校46.07時間】

(2) ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標

- ストレスチェックにおける高ストレス者の割合を8%まで減少させる。

【令和6年度：10%】【令和7年度：8.5%】

- ストレスチェックにおける健康リスクの値を全国平均以下とする。

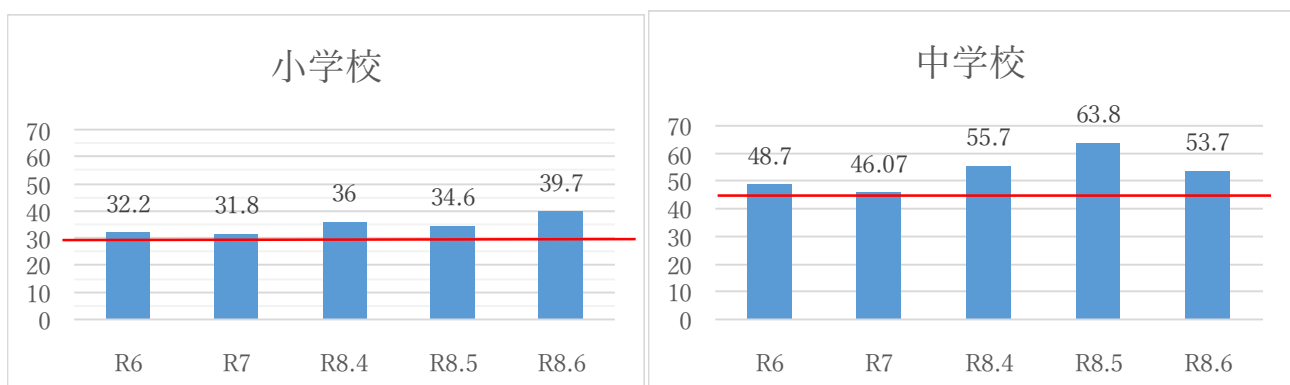
※全国平均を100とし、それを下回れば良好、上回れば要改善となる。

【令和6年度：仕事の量・コントロール：107、職場の支援：83】

【令和7年度：仕事の量・コントロール：101、職場の支援：81】

- Utrecht Work Engagement Scale (UWES-9) によるワーク・エンゲージメント・スコアの平均を3.5以上とする。

【1箇月時間外在校等平均時間】 ※ ——— : 目標値 (小学校30時間、中学校45時間)



3 具体的な取組



学校プール及びゆふと利用状況

1 学校プール

学校名	プール解放期間	利用日数	備考
矢本東小学校	6月15日～7月17日	15	
大曲小学校	6月1日～7月17日	21	
赤井小学校	6月1日～7月17日	19	
大塩小学校	6月11日～7月17日	18	
矢本西小学校	6月10日～7月17日	19	
赤井南小学校	6月1日～7月17日	25	
鳴瀬桜華小学校	6月4日～7月17日	20	
宮野森小学校	6月4日～7月17日	9	
矢本第一中学校	5月30日～7月17日	40	
矢本第二中学校	6月24日～7月17日	1	水質不適合によりゆふと利用
鳴瀬未来中学校	6月22日～7月17日	18	

2 夏季休業中のゆふと利用

利用人数合計：907人（20日間、一日平均45.4人）

7月21日（火）	115人	8月2日（日）	25人
22日（水）	103人	3日（月）	36人
24日（金）	68人	4日（火）	44人
26日（日）	21人	5日（水）	37人
27日（月）	71人	7日（金）	60人
28日（火）	75人	9日（日）	14人
29日（水）	54人	10日（月）	21人
31日（金）	72人	11日（火）	25人
【参考】 R5：4日間で255人（一日平均63.8人） R6：10日間で329人（一日平均32.9人） R7：12日間で278人（一日平均23.2人）		12日（水）	22人
		14日（金）	16人
		15日（土）	10人
		16日（日）	18人

令和8年度中総体・吹奏楽コンクール 東松島市内中学校結果 (※8/9 時点)

種 目		地区大会結果 県大会出場校・出場者	県大会 入賞	東北大会	全国 大会
野球		第1位 矢本二中			
ソフトボール		第1位 矢本二中			
男子バスケットボール		第1位 矢本一中			
		第2位 矢本二中			
女子バスケットボール		第1位 矢本一中			
		第2位 矢本二中			
男子ソフトテニス	団体	第2位 矢本一中			
女子ソフトテニス	団体	第3位 矢本二中			
	個人	ベスト8 菅原・雁部ペア (矢本二中)			
男子卓球	個人	ベスト8 鈴木祥悟 (未来中)			
女子卓球	団体	第3位 矢本二中			
男子剣道	団体	第2位 矢本一中			
		ベスト4 矢本二中			
女子剣道	団体	第2位 矢本一中			
	個人	第3位 高橋翼来 (矢本一中)			
		第3位 齋藤純 (矢本一中)			
男子柔道	個人 66kg 級	第1位 後藤健介 (矢本一中)	第1位	ベスト8	○
	個人 81kg 級	第2位 熱海岳大 (矢本二中)			
	個人 50kg 級	第3位 菅原良太郎 (矢本一中)			
	個人 60kg 級	第3位 三浦歩 (矢本二中)			
女子柔道	個人	第3位 工藤歌恋 (矢本二中)			
男子陸上	1年 100m	第1位 今野元太 (矢本一中) 【大会新】	第1位	第10位	
		第5位 高橋織也 (矢本一中)			
	2年 100m	第4位 朝倉晴希 (未来中)			
		第5位 奥田琉太 (矢本一中)			
	3年 100m	第2位 中塩太智 (矢本二中)			
		第4位 得可主奏 (矢本一中)			
	共通 200m	第2位 石川碧斗 (矢本一中)			
	共通 800m	第2位 宮川怜大 (矢本一中)			
		第4位 齋藤龍馬 (矢本一中)			
		第5位 熱海諒人 (未来中)			
	2,3年 1500m	第3位 新沼快翔 (矢本一中)			
		第4位 今野晴太 (矢本一中)			
	共通 3000m	第3位 新田樹来 (矢本二中)			
		第4位 高田暁光 (未来中)			
	共通 110mH	第2位 相澤孟慶 (矢本一中)			
	低学年 4×100mR	第1位 矢本一中	第6位		
男子陸上	共通走高跳	第1位 高橋優斗 (矢本一中) 【大会新】	第1位	第2位	○
	共通走幅跳	第3位 佐藤陽 (矢本一中)			
		第4位 小野春翔 (矢本二中)			
	共通砲丸投	第1位 阿部壮佑 (矢本二中)			

種 目		地区大会結果 県大会出場校・出場者	県大会 入賞	東北大会	全国 大会
女子陸上	1年100m	第4位 小山紗由佳（矢本二中）			
	2年100m	第4位 歌川美音（矢本一中）			
	共通200m	第4位 菅浪莉心（矢本二中）			
	共通800m	第2位 久根崎友菜（矢本一中）			
		第3位 関野咲来（矢本一中）	第8位		
	1年1500m	第4位 庄子優音（矢本一中）			
	低学年4×100mR	第2位 矢本二中			
	共通4×100mR	第2位 矢本二中			
	共通走高跳	第1位 角張有（矢本二中）			
	共通走幅跳	第1位 庄子心響（矢本一中）			
	共通砲丸投	第1位 佐藤葵心（矢本一中）			
	共通四種競技	第3位 鹿野絆来（矢本二中）	第6位		
男子水泳	50m自由形	第1位 藤原慧久（矢本二中）	第1位	第1位	○
		第2位 氏家惇仁（矢本一中）	第6位		
	100m自由形	第1位 藤原慧久（矢本二中）	第1位	○	
		第2位 氏家惇仁（矢本一中）			
	100m平泳ぎ	第1位 牧内翔（矢本一中）			
		第3位 伊藤光佑（矢本一中）			
	200m平泳ぎ	第1位 牧内翔（矢本一中）	第8位		
	400mリレー	第1位 矢本一中			
女子水泳	50m自由形	第2位 渥美冬陽（矢本一中）	第7位		
	100m自由形	第1位 渥美冬陽（矢本一中）	第8位		
	200m自由形	第1位 日野光希（矢本一中）	第7位		
	400m自由形	第2位 日野光希（矢本一中）			
	100m背泳ぎ	第1位 阿部風芭（矢本一中）			
	400mリレー	第1位 矢本一中			
	400mメドレーリレー	第1位 矢本一中			
男子駅伝競走		第1位 矢本一中			
吹奏楽コンクール地区大会		金賞 矢本二中	銅賞		

○東北大会・全国大会の開催日程

【野球】 （第43回全日本少年軟式野球宮城県大会 第2位 矢本二中）

東北少年軟式野球大会 8/ 8～ 9 山形県米沢市（米沢市営野球場）

【陸上競技】

東北大会 8/ 3～ 5 山形県天童市（NDソフトスタジアム山形）

全国大会 8/ 20～ 23 山口県山口市（維新みらいふスタジアム）

【柔道】

東北大会 8/ 5～ 7 岩手県盛岡市（武の道いわて新興電気武道館）

全国大会 8/ 18～ 21 岡山県岡山市（シゲトーアリーナ岡山）

【水泳】

東北大会 8/ 8～ 10 青森県青森市（新青森県総合運動公園マエダアリーナ）

全国大会 8/ 17～ 19 広島県広島市（ひろしんビッグウェーブ）

東松島市教育支援センター（ひがまつBASE）の現状について

1 設置目的

- 学校生活に困難を抱える児童・生徒の学校外における居場所づくりと学びの場の確保
- 学校生活に困難を抱える児童・生徒の学校復帰を含む社会的自立に向けた相談体制の充実

2 教育支援センターの体制

(1) 所属職員

職 名	月	火	水	木	金
所長（スーパーバイザー）	9:00-17:00	9:00-17:00		9:00-17:00	9:00-17:00
副所長（教育アドバイザー）	13:00-17:00		9:00-17:00	13:00-17:00	
学び指導員	9:00-17:00		9:00-17:00		
学び指導員	9:00-17:00				9:00-17:00
学び指導員		9:00-17:00		9:00-17:00	
学び指導補助員		9:00-16:00	9:00-16:00	9:00-16:00	9:00-16:00
不登校相談員（矢一中）		9:00-15:00	9:00-15:00	9:00-15:00	
不登校相談員（矢二中）		8:30-14:30	8:30-14:30	8:30-14:30	
不登校相談員（未来中）		8:30-14:30	8:30-14:30	8:30-14:30	

(2) 予算現額（令和8年7月22日時点）

- ・人件費 14,219,000 円
- ・需用費等 2,234,000 円

3 児童生徒通所状況（括弧内実人数）

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年差
R 5	37	59	50	36	32	63	65	71	53	42	36	33	577	
R 6	20	48	48	71	26	66	94	100	94	80	89	69	805	+228
R 7	60	75	75	85	49	74	102	90	98	69	85	113	975	+170
R 8	100 (13)	97 (14)	110 (15)											

4 活動の内容

(1) 通所児童生徒への支援

- ①近況、健康状態、心境等についての情報収集と声掛け【心のサポート】
（学び指導員、学び指導補助員の受容的な関わり）
- ②各自の計画に沿った自主学習に対する個別支援【学びサポート】
（タブレットを利用したオンラインでの授業参加、「サイレントタイム」等）
- ③同年代、異年齢、大人との関わり方を学ぶ活動を通じた社会性の育成【自立サポート】
（様々な体験活動やイベントの実施、学生ボランティアの活用）

(2) 各学校の児童生徒の状況把握

- ①個別の支援計画の作成（各学校・教育支援センター）
- ②小学校（8校）訪問の実施…年4回実施（不登校傾向児童の状況、情報交換）
- ③中学校（3校）訪問の実施…月1回生徒指導委員会に参加（不登校傾向生徒の状況、情報交換）
- ④Google フォーム・ドライブによる登校・通所状況の相互確認

(3) 教育支援センター主催会議・企画事業等

- ①教育支援センター・不登校相談員・SSW等連絡会（年間6回）
・児童生徒の情報交換、事例研修、石巻圏域（石巻・女川）で合同実施（年1回）
- ②小中学校との情報共有（年間2回、夏休みと2月に実施）
・教育支援センターでの児童生徒の様子についての学校（担任等）との情報共有

(4) 企画行事（これまでに開催した内容も含めて）

- ・田んぼの学校 ・避難訓練 ・マンガ・イラスト教室 ・ＢＢＱを楽しもう
- ・食育講話「エンジョイ流しそうめん」 ・クッキーづくり ・芋煮会をしよう
- ・二胡演奏会＆Curry ・年末お楽しみ会 ・外国文化と日本文化に触れてみよう
- ・祝卒業～未来へはばたけ

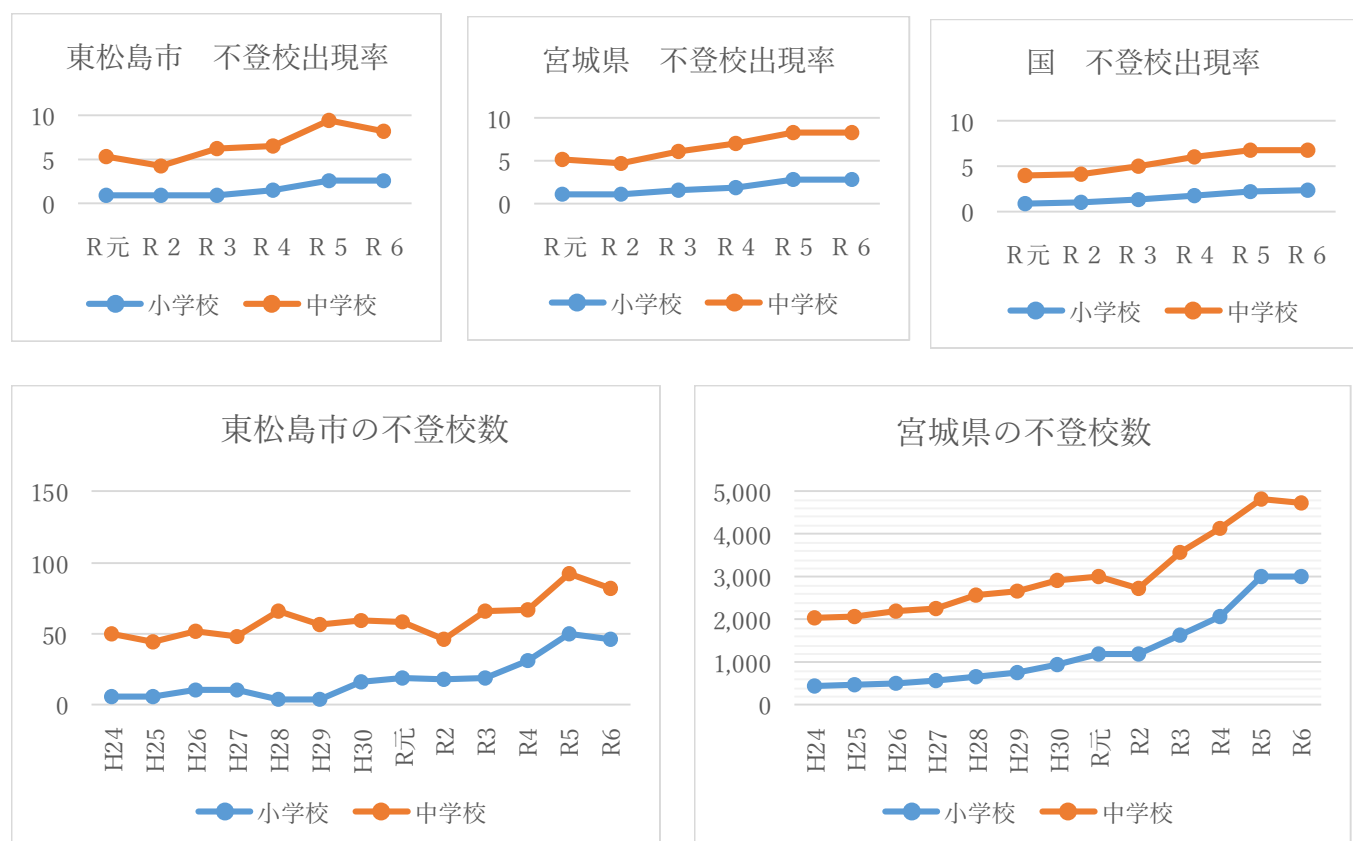
(5) 保護者への支援

- ・来所面談（相談）の実施（Ｒ７…１０回実施）
- ・家庭訪問の実施（Ｒ７…３９回実施）
- ・ＢＡＳＥカフェ（毎月第３月曜日に実施。Ｒ７…２１人利用）
（※子育てに対する疑問や悩みを持つ保護者が気軽に語り合うことができる場）

5 教育支援センター設置による効果

- 不登校出現率は国や県とほぼ同様の傾向が見られているが、不登校数は増加傾向にはあるものの、県と比べて緩やかな増加となっている。
- 児童生徒の通所は毎年増加しており、今年度の通所状況も昨年を大きく上回るペースとなっている。支援センターは学校に登校できずにいる児童生徒にとって、自分の思いを話したり安心して過ごしたりできる貴重な居場所となっている。また、その保護者にとっても、日頃の子育ての悩みを共有したり相談したりできる場になっている。
- 学校に登校できない状態になった児童生徒が、教育支援センターへの通所を続けることで学習等で少しずつ自信を取り戻し、学校に登校できるようになった事例が多数見られる。

<参考>



大曲小学校新校舎完成後及び仮設校舎等解体工事日程について

新校舎完成後の日程

日 時	内 容
8月28日（金）（予定）	大曲小学校新校舎、太陽光パネル設置工事完成 検査
9月 1日（火）13：30～	市長、副市長、教育長、関係職員内覧
9月 3日（木）13：15～	新校舎落成式
9月10日（木）15：00～	大曲小学校、防災課、市避難所担当職員、自主 防災組織会議
9月12日（土）（予定）	地域住民向け内覧会
9月17日（木）～19日（土）	新校舎への引越し作業
9月24日（木）	新校舎で授業開始

仮設校舎及び西校舎解体工事日程

日 時	内 容
9月24日（木）（予定）	西校舎解体工事現場着手
10月1日（木）（予定）	仮設校舎解体工事現場着手
令和9年2月上旬（予定）	仮設校舎解体工事完成検査
3月末日（予定）	西校舎解体工事完成検査

学校給食費無償化に係る非喫食者保護者に対する負担軽減について

1 趣旨及び背景

- (1) 国の動向：本年4月より国の交付金を活用した小学校の学校給食費無償化（児童一人当たり月額5,200円）を開始。
- (2) 県内の状況：県内市町村のうち13市町村において、給食を喫食していない児童等の保護者に対し、給食費相当額の給付等の救済措置を実施。
- (3) 当市の方針：「無償化の恩恵 公平に提供」河北新報令和8年8月11日付け報道を受け、同8月12日市長部局と協議し、以下の方針について検討を開始。

2 支援対象・支援対象外

【支援対象】

市内小学校に在籍し、申請により1食全て（主食・副食・牛乳）給食止めの措置をしている次のいずれかに該当する児童の保護者を対象とする。

(1) 病気・アレルギー児童

病気やアレルギーの理由により、給食を年間通じてほとんど、または全く喫食せず、弁当を持参している児童。

(2) 不登校児童

喫食しない期間が1年間や学期間など長期にわたり、給食の停止に係る届け出がある児童。

(3) 宗教上の理由

宗教上の理由により、給食を年間通じてほとんど、または全く喫食せず弁当を持参している児童。

【支援対象外】

次のいずれかに該当する児童の保護者は支援の対象外とする。

(1) 主食・副食の提供を受けているアレルギー対応食喫食児童、牛乳停止等の児童

(2) 生活保護の教育扶助または就学援助（準要保護者）により給食費を受給している世帯

3 当市における対象者は下記のとおり。

- (1) 病気による児童：1人（弁当持参）
- (2) 不登校による児童：6人

4 今後の予定

他自治体の動向を踏まえつつ、要綱の策定等を進めてまいります。なお、支援は令和8年4月1日に遡及適用の予定。

東松島市総合教育会議

標準学力調査の結果と本市の学力向上の取組について

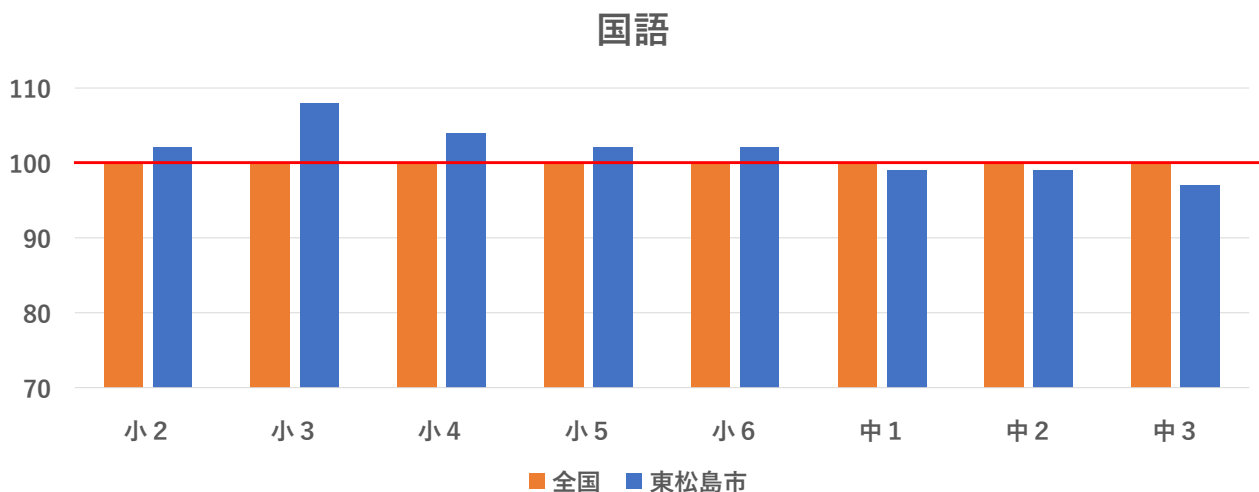
- 1 今年度4月の全体の結果
- 2 今年度4月の「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」の結果
- 3 令和3年度4月と今年度4月の達成率の経年変化
- 4 今後の取組

1

1 今年度4月の全体の結果

標準学力調査結果（単年度・正答率）

調査問題の正答率について全国を100としたときの各学年の結果



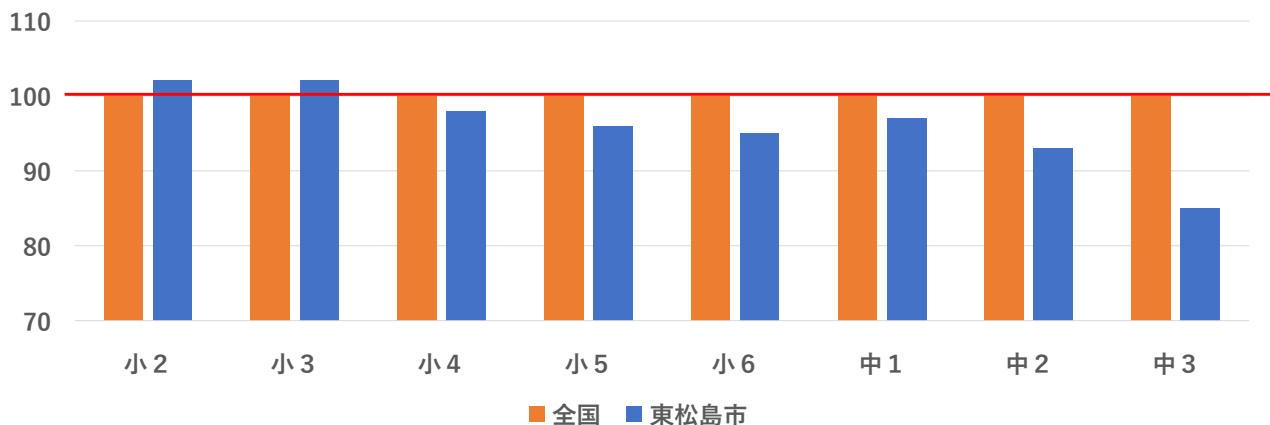
8学年中、小学校の全学年で全国平均を上回るとともに、
中学校の2学年は全国との差が1ポイント以内。

2

標準学力調査結果（単年度・正答率）

調査問題の正答率について全国を
100としたときの各学年の結果

算数・数学

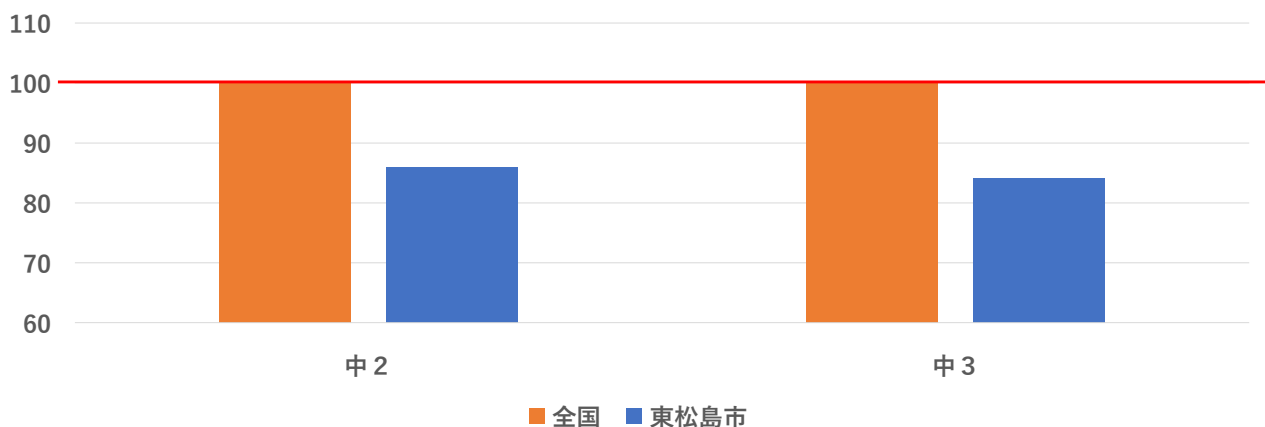


8学年中、小学校の2学年で全国平均を上回り、小学校3学年と中学校の1学年は全国との差が5ポイント以内。

標準学力調査結果（単年度・正答率）

調査問題の正答率について全国を
100としたときの各学年の結果

英語



全国の正答率と比較すると10ポイント以上の差。

東松島市総合教育会議

標準学力調査の結果と本市の学力向上の取組について

- 1 今年度4月の全体の結果
- 2 今年度4月の「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」の結果
- 3 令和3年度4月と今年度4月の達成率の経年変化
- 4 今後の取組

5

2 今年度4月の「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」の結果

「思考力・判断力・表現力」の育成を重視



新しい学力観

- ・ 舵取りができる力
 - ・ 「何を知っているか」よりも
「知り得た知識を組み合わせでどう使うか」
が求められる
- コミュニケーション力や発想力が重要

A I 等の科学技術の進化により、
予測不能な社会の到来
→ 仕事なども大きく変わる

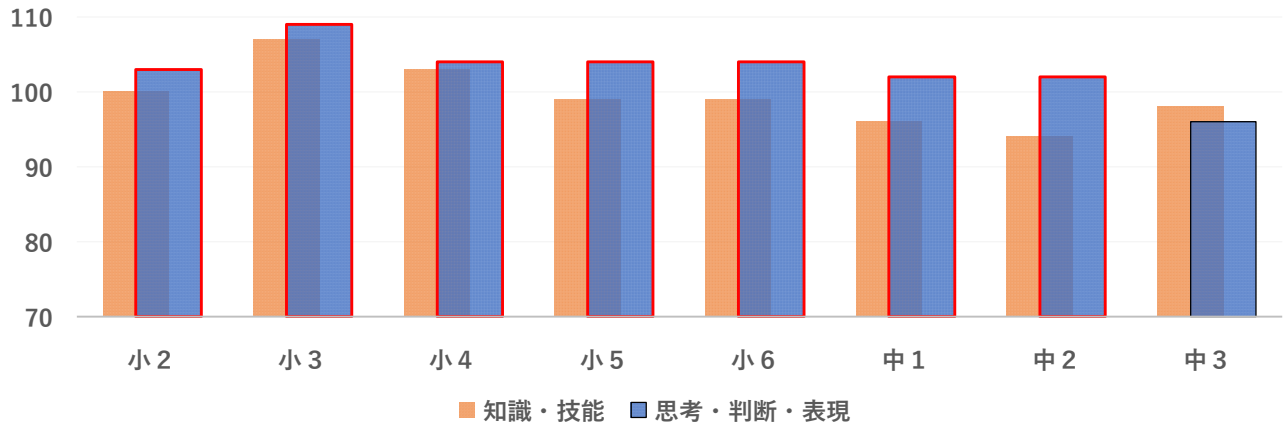
**他者と協働し、答えのない未来を創造的に切り開く人材
の育成が重要**

6

標準学力調査結果（単年度・正答率）

調査問題の正答率について全国を100としたときの各学年の結果

国語



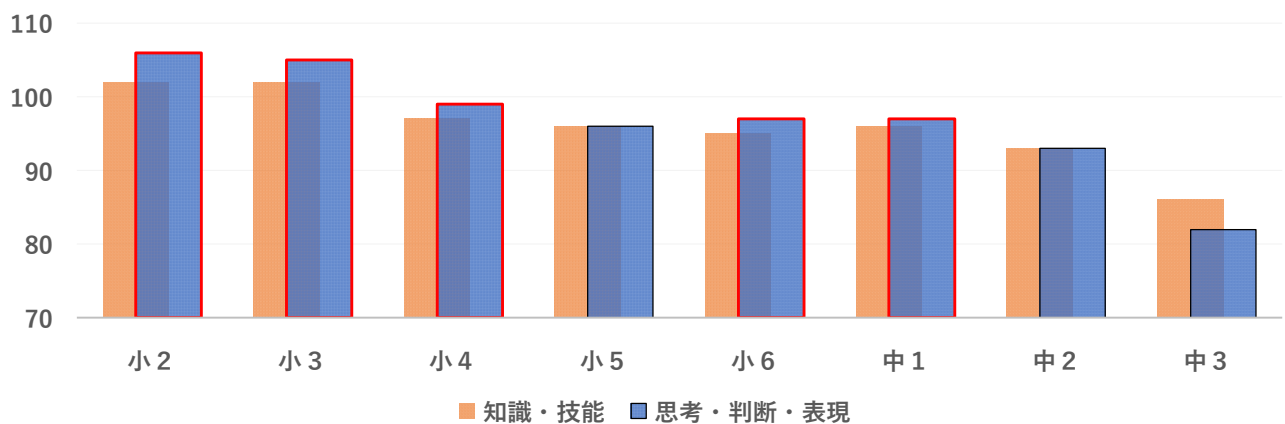
国語科において、「**思考力・判断力・表現力**」は学力調査における本市の強み。

7

標準学力調査結果（単年度・正答率）

調査問題の正答率について全国を100としたときの各学年の結果

算数・数学

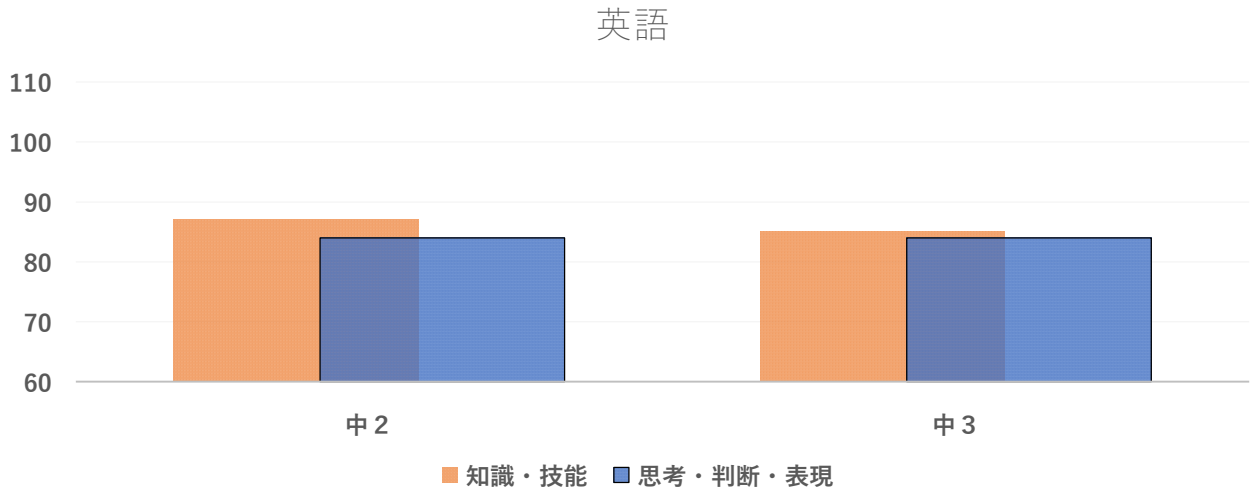


算数・数学科においても**国語科と同様の傾向**。

8

標準学力調査結果（単年度・正答率）

調査問題の正答率について全国を100としたときの各学年の結果



英語科は、「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」の結果が同等。

9

「探究と協同の学び」の推進

- ・ 教師主導から**子ども主導**へ
- ・ **聴き合う**関係づくり
- ・ 学びの環境としての**グループ**
- ・ 考えたくなる「**ジャンプの課題**」
- ・ 知識伝達型の授業から子ども自身が自発的に課題を解決する「**探究**」のプロセスを重視した授業へ



日常的に、自分の考えを持ち、伝え合い、学び合う授業の展開が「思考力・判断力・表現力」の育成の一助に

10

東松島市総合教育会議

標準学力調査の結果と本市の学力向上の取組について

- 1 今年度4月の全体の結果
- 2 今年度4月の「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」の結果
- 3 **令和3年度4月と今年度4月の達成率の経年変化**
- 4 今後の取組

11

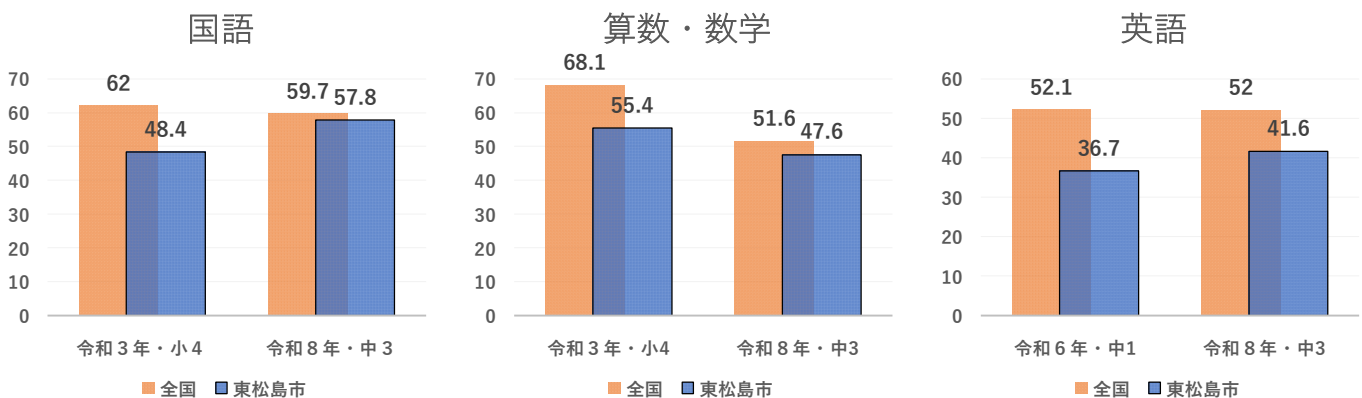
3 令和3年度4月と今年度4月の達成率の経年変化

標準学力調査結果（経年変化・達成率）

達成率

小学校の評定1～3で2または3
中学校の評定1～5で3～5
を達成した割合

調査開始時（令和3年4月・当時小4）と現在（令和8年4月・現中3）の比較
※英語（令和6年12月・当時中1）と現在（令和8年4月・現中3）の比較



調査開始当時と比較して、**中位層、上位層の割合が増加し、下位層が大幅に減少。**

12

3 令和3年度4月と今年度4月の達成率の経年変化

標準学力調査結果（経年変化・達成率）

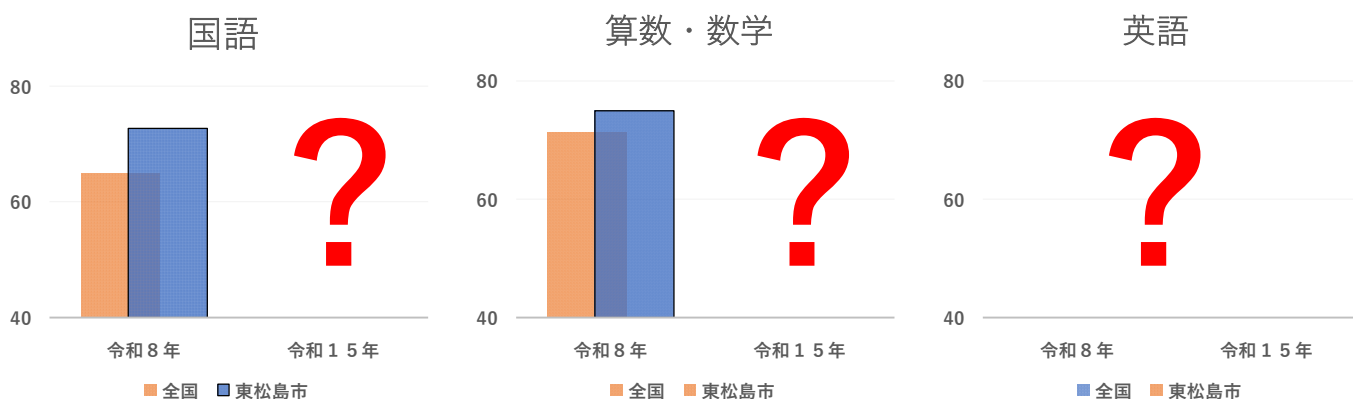
達成率

小学校の評定1～3で2または3

中学校の評定1～5で3～5

を達成した割合

令和8年4月 小学2年生 の達成率



達成率は全国を上回る = 中3時の結果に期待

13

東松島市総合教育会議

標準学力調査の結果と本市の学力向上の取組について

- 1 今年度4月の全体の結果
- 2 今年度4月の「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」の結果
- 3 令和3年度4月と今年度4月の達成率の経年変化
- 4 今後の取組

14

子どもたちの可能性を広げ伸ばす学力保障と成長保障



「探究と協同の学び」の推進



標準学力調査の結果を
踏まえた授業改善
(R-PDCAサイクル)



タブレット（AIドリル等）を活用した家庭学習

次代を担う人材を育む学びの充実へ

目指す「15歳の姿」を共有した

幼保小中連携の取組



少子化の中、若い世代に選ばれるために



親の最も大きな不安は
小学校入学に伴う学びの環境への不安



0歳から15歳までの切れ目のない幼保小中連携
教育の充実により、子どもと保護者の安心を

具体的な取組 1：行政からの積極的な働き掛け ー保健福祉部と教育部が連携した取組ー

- ・ 特別支援教育ガイダンス（年中児保護者対象）
- ・ 早期からの教育相談
- ・ 学校見学及び教育相談
- ・ 「でめこん」についての啓発



具体的な取組 2

小学校への接続を円滑にするために ー架け橋期カレンダーを生かした取組ー

- ・ 年長児を小学校の行事に招待（運動会、和太鼓発表会等）
- ・ 年長児と小学生の交流
- ・ 年長児同士の交流
- ・ 教職員の交流



架 け 橋 カ レ ン ダ ー (小学校1年間) - 覧

学校名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
矢本東小	▼9年生に立寄り活動 う。読書、給食、清掃 等 ♥1年生を迎える会 ♥縦割り活動では、異学 生との交流 ▼トイレ、手洗い等の衛 生面の指導	■幼保小連絡会1回目		▼小学校教諭が、年長 クラスを参観・懇親会		♥5年生が保育園訪問 し、年長クラスと交流	♥幼児が小学校を訪問 し、5年生と交流	♥幼児が小学校を訪問 し、1年生と交流
大塚小	★交通安全教室 ♥1年生を迎える会 ♥うたってうごいてみんな で音楽	★地震津波引渡し訓練 ♥かかしのしごとをはじ めよう	★あめのひのすごしか た ♥すなやつちとなかま し	★としょかんはどんな ところ			♥交流活動(学芸会)	♥交流活動(生活科)
矢本西小	■小学校学習参観	■第一学区園児・児童引 渡し訓練 ■保育園教諭による小学 校学習参観		▼えに ■授業 ■学区 ♥生活 てきた				



成果

- ・ 学びの環境を整える（保護者の理解）
- ・ 教職員同士の相互理解
- ・ 小学生の思いやりの心
- ・ 年長児の小学校入学への意欲の高まり

課題

- ・ 子育てに悩む保護者への更なるサポート体制
(例) 5歳児健診→小学校での学びの環境